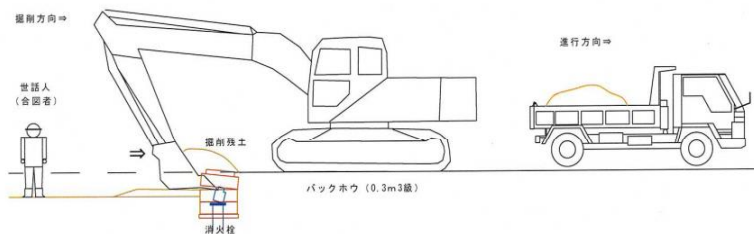


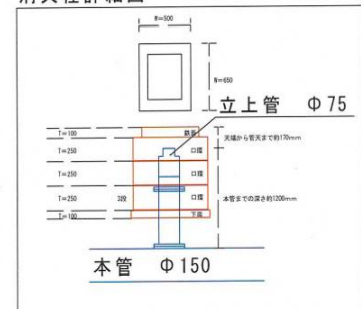
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年11月1日(月曜日) 10時40分頃			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道管破損(消火栓フランジ管Φ75)			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	道路舗装工事						
事故概要	本工事は、表層(再生密粒度アスファルト)厚さ5cm、上層路盤(再生粒度調整碎石RM-25)厚さ10cm、下層路盤(再生クラッシャーランRC-40)厚さ10cmの舗装打替え工事であり、バックホウ0.3m3にて現地盤から-45cmの高さまで掘削していたところ、重機オペレーター、合図者共に掘削残土が消火栓に被っていることに気づかずバックホウのバケットで水道管を破損し(消火栓フランジ管Φ75)周辺住宅、事業所を断水させたもの。						
事故原因	掘削時、消火栓に掘削残土が被り重機オペレーター、合図者共に消火栓の位置の存在を失念したこと。						
改善策	①下請け業者を含む全ての現場作業員、重機オペレーターにその位置を把握させ、施工時には埋設位置がわかるように目印版の設置、路面等にマーキング等を実施作業を行う。 ②作業当日前にKY(危険予知防止)活動表・作業手順の様式に地下埋設物等の項目を追加し全ての作業員が毎日地下埋設物の位置を確認する。						

事故状況図



消火栓詳細図



改善状況図



全作業員による現地確認



マーキング実施状況